

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日				記入者	
部 名	財務部	課 名	管財課	連絡先	2333
事務事業名	市役所本庁舎維持補修事業				
予算上の事務事業名	本庁舎維持補修費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード				
基本目標	#N/A				
政策名	#N/A				
基本施策名	#N/A				事業開始年度
施策名	#N/A				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
地方自治法・相模原市庁舎管理規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	維持・管理・補修				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
市役所本庁舎の機能が維持できるように、維持補修を行う。			市役所本庁舎		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
年間を通して、施設維持のための小破修繕を行っている。また、組織改正や職員の人事異動に伴う事務室配置の変更に伴い、事務室や案内サイン等の改修を行っている。 平成17年度決算見込み額 21,313千円					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他の自治体においても同様の目的で実施している。それぞれの自治体の施設の規模や設備の老朽化等の状況により、修繕内容等に相違があるものと思われる。					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	71,245	40,928	21,313	79,620	79,620
一般財源	71,245	40,928	21,313	79,620	79,620
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	8,010	8,070	8,050	8,050	8,050
事業コスト合計	79,255	48,998	29,363	87,670	87,670
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	施設修繕料 (小破・案内サイン等)			対象名称と単位	修繕件数 (件)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	22,715	15,114	21,313	49,600	49,600
対象数	83	55	90	80	80
単位あたり経費(円)	273,675	274,800	236,811	620,000	620,000
前年度比		1.00	0.86	2.62	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	修繕箇所数	指標式と指標の説明	年間の修繕箇所		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	83.0	55.0	90.0		
目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
目標達成度（%）	103.8	68.8	112.5		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	事故防止率	指標式と指標の説明	修繕個所に占める事故防止率 実績：無事故箇所数／目標：修繕箇所数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	82.0	55.0	90.0		
目標	83.0	55.0	90.0	80.0	80.0
目標達成度（%）	98.8	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		本庁舎施設維持補修事業は、市民をはじめ職員が安心、かつ安全で快適に使用できるとともに、施設をより長く使用できるようにするため、今後も必要な修繕を実施することが必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 修繕にあたっては、機器、設備等の状況や耐用年数を踏まえ、計画的な修繕を行う。			14 課題として認識されたこと 市議会議員選挙や、組織改正の規模等により、事業費が大きく左右されてしまう面がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			